【データサイエンス・AI実務パスポート】教育課程　到達目標達成度評価表（提出用）

**添付資料Ｂ**

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 資格到達目標 | 開発能力 | 具体的な学修目標 | 学生自己評価（項目別）レベル | 学生自己評価（領域別）総合評価 |
| 領域１　情報社会において情報を適切に収集・分析する知識と技能を持ち、他者への思いやりを持って、協働できる基本能力を身につけている。 | 1-1情報社会における情報の知識 | ①情報がもつ特性、その表現方法を理解している。テキスト，画像，動画，音声，位置情報など、多様なデジタルデータの収集や保管、取り扱いができる。  | 5・4・3・2・1 | 5・4・3・2・1 |
| ②インターネット上の様々な公開情報や、SNS等による多様で複合的な情報コミュニケーションの方法，特性，社会的な意義や影響を理解している。 | 5・4・3・2・1 |
| ③デジタル技術が社会にもたらすメリットとリスクを理解し、個人情報保護，知的財産権等を踏まえて行動できる。  | 5・4・3・2・1 |
| 1-2情報社会において情報を収集・分析する基本技能 | ④インターネット上の様々な情報や、業務で発生する情報、他者が収集する情報などの意味が理解でき、適切な方法で収集・分類できる。 | 5・4・3・2・1 |
| ⑤データベースやデータ構造(構造化テキストデータ)の基礎知識を有し、検索ツールやデータ収集ツールを適切に使用できる。 | 5・4・3・2・1 |
| ⑥データ加工やデータマイニングについて、基礎的な手法を修得している。 | 5・4・3・2・1 |
| 1-3情報社会において情報を扱う態度 | ⑦必要な情報を収集・分析し、科学的・論理的に判断する手順や態度を修得している。 | 5・4・3・2・1 |
| ⑧情報倫理を理解し、インターネット上で情報共有者，発信者として適切に行動できる。 | 5・4・3・2・1 |
| 領域２　データサイエンス・データエンジニアリング・AI技術の基礎知識を有し、それらが実務や社会にどのような影響をもたらすか理解できる。 | 2-1データエンジニアリングの基礎知識 | ⑨様々なビッグデータの種類や特性、その構造と活用方法を理解している。 | 5・4・3・2・1 | 5・4・3・2・1 |
| ⑩データベースを修得し、基礎的なデータ加工やデータマイニングを行うことができる。 | 5・4・3・2・1 |
| 2-2データサイエンスの基礎知識 | ⑪データサイエンスの基礎となる数学(統計，多変量解析等)を修得している。 | 5・4・3・2・1 |
| ⑫統計解析の基礎的手法を使って、データを分析することができる。 | 5・4・3・2・1 |
| ⑬データの分析から得られた「手がかり」を可視化するためのグラフ作成や図解方法を修得している。 | 5・4・3・2・1 |
| 2-3AIの概念・技法・応用事例の知識 | ⑭AIの歴史と技術背景について説明できる。 | 5・4・3・2・1 |
| ⑮AIの社会での活用事例とその意義について理解している。 | 5・4・3・2・1 |
| 領域３　情報社会において、対象となる課題を科学的・論理的に発見・分析し、適切に表現することで、他者と協働して創造的に解決する能力の基礎を身に付けている。 | 3-1課題発見力・分析力・表現力と共有化の技能 | ⑯ 身近な状況の中から課題を発見し、解決に結びつくデータを収集することができる。 | 5・4・3・2・1 | 5・4・3・2・1 |
| ⑰収集したデータを科学的に分析し、解決方法を見出すことができる。 | 5・4・3・2・1 |
| ⑱データや分析結果を適切に可視化し、課題を明確に表現することができる。 | 5・4・3・2・1 |
| ⑲コミュニケーションの本質を理解し、集団の前で効果的にプレゼンテーションができ、また、共同作業において様々な目的で話し合いができる。 | 5・4・3・2・1 |
| 3-2課題解決の態度 | ⑳グループ活動において、相手の立場を理解して合意点を探り、協調でき、必要に応じてリーダーシップを取るなど、適切に活動できる。 | 5・4・3・2・1 |
| ㉑社会の変化を感知し、学びを継続して自分のライフキャリアを考え続けることができる。 | 5・4・3・2・1 |

〇評価結果の全体振り返りと今後の自分の開発能力と学修課題について（300字程度 学生記入）

|  |
| --- |
| 教職員提出確認 |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 大学名 |  | 学部・学科 |  |
| 学籍番号 |  | 氏　名 |  |